

令和7年度（2学年用）教科

科目 家庭総合

教科： 家庭科

科目： 家庭総合

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1 組：根本 ）（2 組：根本 ）（3 組：根本 ）（4 組：根本 ）（5 組：根本）

使用教科書：（ 家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍） ）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などのついて生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に努めることとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などのついて科学的に理解しているとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に努めることとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 生涯発達の見点からライフステージの課題と特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題は年代ごとの自立目標となり、個性に応じたそれぞれの課題は国や地域、時代など様々な要因によっても変容することを考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家庭科の授業の手引き 注意事項 生涯発達の見点と特徴 ・教材 1章生涯を見通すと2章人生を作る（自立について）のワークシート ICT教材活用	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 生涯発達の見点からライフステージの課題と特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題は年代ごとの自立目標となり、個性に応じたそれぞれの課題は国や地域、時代など様々な要因によっても変容することを考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決しようとしている。	○	○	○	1
	B 人生をつくる 【知識及び技能】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解し、家族・家庭と生活の結びつきや社会制度としての家族・家庭を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。その意思決定は人生を決めていく中で重要であることを考え、理解する。家族家庭について多角的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1 台端末の活用 等	B 人生をつくる 【知識及び技能】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解し、家族・家庭と生活の結びつきや社会制度としての家族・家庭を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。その意思決定は人生を決めていく中で重要であることを考え、理解する。家族家庭について多角的、歴史的に理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						
	B 人生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び技能】 より良い家庭生活を実現するために、生活との結びつきを具体的に理解し、社会制度としての家族・家庭や法律を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわり、家事労働や婚姻の変化など、自身の価値観と共に自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1 台端末の活用 等	B 人生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び技能】 より良い家庭生活を実現するために、生活との結びつきを具体的に理解し、社会制度としての家族・家庭や法律を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわり、家事労働や婚姻の変化など、自身の価値観と共に自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	B 人生をつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭・これからの家庭生活）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1 台端末の活用 等	B 人生をつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	C 経済生活を営む ④、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家計のマネジメント 金融商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1 台端末の活用 等	D 経済生活を営む ②購入・支払いの 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	C 経済生活を営む ④、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家計のマネジメント 金融商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1 台端末の活用 等	D 経済生活を営む ④、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	○	○	○	3

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：真崎・根本）（2組：真崎・根本）（3組：根本・小宮）（4組：真崎・根本）（5組：根本・小宮）

使用教科書：（家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍））

教科 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などのついで生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などのついで科学的に理解しているとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第7章 衣生活 被服製作実習（エプロン、の製作）、伝統的な衣服製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。	・指導事項 授業のオリエンテーションとエプロン製作の説明 ・教材 半縫製教材と作業進度シート	【知識・技能】 被服製作実習（エプロン、の製作）、伝統的な衣服製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6
	第7章 衣生活 被服製作実習（エプロン、の製作）、伝統的な衣服製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。	・指導事項 授業のオリエンテーションとエプロン製作の説明 ・教材 半縫製教材と作業進度シート	【知識・技能】 被服製作実習（エプロン、の製作）、伝統的な衣服製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	8
	定期考査						
	第6章 食生活 栄養素 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。	・指導事項 食生活の課題と栄養の基礎 食品ロス ・教材 食生活のワークシートと演習問題	【知識・技能】 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 【思考・判断・表現】 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	8
	第6章 食生活 栄養素 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。	・指導事項 食生活の課題と栄養の基礎 食品ロス ・教材 食生活のワークシートと演習問題	【知識・技能】 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 【思考・判断・表現】 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。高齢社会の現状と課題について理解する。介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、共生社会などを理解する。介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介護の基礎的な知識・技術を身につける。	・指導事項 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活について理解を深める。 ・教材 高齢期ワークシートと演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状と課題について理し考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	8
	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。高齢社会の現状と課題について理解する。介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、共生社会などを理解する。介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介護の基礎的な知識・技術を身につける。	・指導事項 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活について理解を深める。 ・教材 高齢期ワークシートと演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢期の健康 高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状と課題について理し考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6
	定期考査						
	第2章 保育 発育・発達、親の役割、子どもの生活・遊び、健康・安全 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 食中毒 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について考え、自分なりの意見を持つ。親の役割や子供を育てることの意義を学ぶ。生命の尊さを認識し、愛着の形成や社会的規範を身につけさせる上で、保育における親の役割を理解する。	・指導事項 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義に関して ・教材 調理実習含む 保育ワークシート 演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。 【思考・判断・表現】 現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 子育ての充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6

	第2章 保育 発育・発達、親の役割、子どもの生活・遊び、健康・安全 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 食中毒 現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を学習し、文化祭も視野に入れて、食衛生についての理解を深める。	・指導事項 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義に関して ・教材 保育ワークシート 演習問題 DVD視聴	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。 【思考・判断・表現】 現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】子育ての充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。ライフステージに合わせた安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。	・指導事項 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について ・教材 ワークシート DVD教材	【知識・技能】 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。 【思考・判断・表現】 安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】住生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	8
	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。ライフステージに合わせた安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。	・指導事項 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について ・教材 ワークシート DVD教材	【知識・技能】 住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。 【思考・判断・表現】 安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】住生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
							合計
							70

令和7年度（3学年用）教科 家庭科 科目 フード・デザイン

教科：家庭科 科目：フード・デザイン 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 1組～5組
教科担当者：（1組：根本）（2組：根本）（3組：根本）（4組：根本）（5組：根本）
使用教科書：（フードデザイン Food Changes LIFE（教育図書））
教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。
【思考力、判断力、表現力等】栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、食生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目	フード・デザイン			の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。	栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、食生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 健康と食生活 食事の意義や職を取り巻く状況を理解し、食生活の課題を把握する。 1年間の取り組みの関するガイダンスを受けて、評価の基準等を理解する。実習の材料を調達する。	・指導事項 授業の手引き 注意事項シート ・教材 1章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 食事の意義や職を取り巻く状況を理解し、食生活の課題を把握する。 【思考・判断・表現】 ガイダンスを受けて、評価の基準等を理解する。目標を設定する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	6
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を分担してレポートを作成する。簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしていく。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 2章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしまとめの力量を養う 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	8
	定期考査						
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を分担してレポートを作成する。簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしていく。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 2章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしまとめの力量を養う 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	8
	B 栄養素と食品 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を分担してレポートを作成する。簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしていく。レポート発表を行い、そのメモを取り、提出する。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 2章のワークシート 期末考査あり ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 栄養素の働きや体での消化吸収の仕組みなどを理解し、各栄養素の概略を理解する 【思考・判断・表現】 簡単な実習を通じて食品の特徴や調理の科学についてレポートをこなしまとめの力量を養う 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 調理実習と食品の取り扱い 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。食品選択や衛生に関する知識を学び、理解度をワークにて確認する。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 3章のワークシート 簡易テストあり ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	8
	C 調理実習と食品の取り扱い 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。食品選択や衛生に関する知識を学び、理解度をワークにて確認する。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 3章のワークシート 簡易テストあり ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指した調理の背景と器具や操作に関する知識を学び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	6

2 学 期	定期考査						
	C 調理実習と食品の取り扱い 安全性・栄養性・おいしさの向上を 目指した調理の背景と器具や操作に 関する知識を学び、実習にて確認す る。 食品選択や衛生に関する知識 を学び、理解度をワークにて確認す る。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 3章のワークシート 簡易テスト あり ICT教材 活用 DVD視聴	【知識・技能】 安全性・栄養性・おいしさの向上を目指 した調理の背景と器具や操作に関する知識を学 び、実習にて確認する。 【思考・判断・表現】 理解度をワークにて確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	8
	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 6章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 6章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	6
	D 食育と食育推進活動 食育と食文化・環境とのかかわりを 理解し、食品ロスなどのごみ問題か ら世界的な課題と日常の食生活のか かわりを考察し、実践的に食にかか わる意欲と技術向上に努める。	・指導事項 授業の手引き 実習のレポート ・教材 6章のワークシート ICT教材活用 DVD視聴	【知識・技能】 食育と食文化・環境とのかかわりを理解し、食品ロスなどの ごみ問題から世界的な課題と日常の食生活のかかわりを理解 する。 【思考・判断・表現】 食の課題と日常の食生活のかかわりを考察し、実践的に食に かかわる意欲と技術向上に努める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークや実習に積極的に取り組み提出する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
							70